

茨城大学大学院人文社会科学研究所 入試説明会及びキャリア支援セミナー の開催について

本学大学院進学を目指す大学4年生はもちろん、進路のひとつとして関心を持たれている社会人・外国人留学生の方など、どなたでもご参加いただけます。

また、今年度は、入試説明会終了後に本研究科の修了生を講師にむかえた「キャリア支援セミナー」を開催いたします。

皆さんの参加をお待ちしております。

【日時】

(入 試 説 明 会) 令和7年7月9日(水) 16:00～

(キャリア支援セミナー) 令和7年7月9日(水) 17:30～

【場所】

茨城大学人文社会科学部講義棟15番教室

【参加方法】

対面または Microsoft Teams によるオンライン参加

オンラインでの参加者は、**7月4日(金)までに**以下の URL からアンケートに回答をお願いします。アンケートに回答後、Teams への招待メールをお送りします。

(以下のアンケートに回答するには Microsoft アカウントが必要です。)

※対面で説明会に参加する場合には、以下の登録は不要です。



<https://forms.office.com/r/4iMF2q5zN2>

Microsoft Teams による参加にあたっての注意点

- ・ Teams の使用には、かなりの量のデータ通信量が必要となりますので、Wi-Fi 等の環境下での視聴をお勧めします。
- ・ アンケート（Microsoft Forms）への回答は Microsoft アカウントが必要です。アカウントがない場合には作成をお願いします。Microsoft アカウントには、キャリアメールは使用できないため、Gmail 等をご利用ください。
- ・ アンケートに回答後、7 月 7 日（月）以降に、回答いただいたメールアドレス宛に、説明会への招待メールをお送りしますので、説明会当日に当該メールから会議へ参加をしてください。
- ・ 茨城大学生以外の外部から Teams の会議に参加される方には、招待メールとは別に説明会当日に説明会資料（PDF）をメールでお送りする予定です。

問い合わせ先：茨城大学人文社会科学部学務グループ

メールアドレス：hum-gakumu[at]ml.ibaraki.ac.jp

※[at]を@に変換して送信してください。

TEL：029-228-8106

7/9 (水)
17:30~18:00

茨城大学
水戸キャンパス

人文社会科学部講義棟
15番教室

オンライン参加OK

修了生から
学ぶ
キャリアデザイン

2025 Summer

茨城大学大学院

人文社会科学部研究科

キャリア・トーク

大学院はキャリアをどう変えたか

Career design

当日の内容

- ・ 修了生によるキャリア・トーク
- ・ Q&A

大学院での学びが今のキャリアや人生にどんな影響を与えたのか！
修了生の生の声をお聴きください。

オンライン参加QR



オンライン参加をご希望の方は
こちらのQRコードより
ご登録ください

< 修了生プロフィール >

おおさと みほ
大里 美穂 氏



【修了コース】人文社会科学研究科
文化科学専攻人間文化コース

【修了年度】2018年度（2019年3月終了）

【ご職業】（現在関わっている仕事の概要など）
主に埋蔵文化財の調査・保存・研究・教育普及に関する職

【メッセージ】

大学院を修了し社会に出て、当時の学びや経験はその後の選択肢を大いに増やしてくれたと実感しています。私は現在、茨城県の教育公務員の職を経て、文化財専門職として地域の文化財からわかる『地元の歴史』を市民の皆さん身近に感じてもらうよう取り組んでいます。今回のトークでは、私が学部や大学院で得た「武器」について皆さんにご紹介しながら、その武器が今の私の「仕事」「生き方」などにどのように影響しているのかまとめてみました。

また、文化財専門職の世界へ飛び込んでから今年で3年目を迎えます。この職の面白さはもちろんのこと、難しさも感じるようになり、今後の人文系専門職にとって大学院進学がさらに強みになるのではないかと強く思っています。

私自身まだまだ考えなければいけない人生が長くあります。わずかな経験ではありますが、皆さんの参考になれば幸いです。

もがき さとし
茂垣 諭 氏



【修了コース】人文社会科学研究科
社会科学専攻地域政策研究（社会人）コース

【修了年度】2018年度（2019年3月終了）

【ご職業】（現在関わっている仕事の概要など）
地方公務員（鹿嶋市役所経済振興部地域ブランド戦略室 課長）
大学院で研究した「政策評価・ロジックモデル」の知識をフル活用して「ふるさと納税」をとおした地域のブランディングに取り組んでいます。大学院での学びを実践することで、ふるさと納税受入額を着任1年目で2倍、2年目は昨年度の3倍でスタートすることができました。

【メッセージ】

私の場合は、課題が先にあり、その解決策を見つけるために、鹿嶋市からの派遣で大学院に進みました。修士論文に書いた内容を自分が担当者として実務で実現することができ、先進的な取り組みとして専門誌で事例紹介をしているほか、大学院でつくった人間関係をきっかけに、全国の市町村職員に大学院での学びを伝える取り組みも行っています。大学院で学んだ専門知識や人間関係は、社会に出た後、どうキャリアに活かせるのか？公務員志望の方や大学院で学んだ理論と社会での実践についてご関心のある方、是非、意見交換しましょう！